

こしかわ みさこ
越川 房子



1991年早稲田大学文学部助手、1994年早稲田大学文学部専任講師、1997年早稲田大学文学部・大学院文学研究科助教授、2002年同教授となり現在に至る、2013年日本マインドフルネス学会理事長、2014～16年同大学文学学術院長(文学部長兼任)

研究領域は臨床心理学で、最近は特にマインドフルネス瞑想の効果機序や効果に関心を寄せている。2004年～5年に8か月間、マインドフルネス認知療法の開発者であるウィリアム教授(オックスフォード大学の精神医学科)もとで特別研究期間を過ごす。編著書・訳書に「マインドフルネス 基礎と実践」(日本評論社)、「うつのためのマインドフルネス実習」(星和書店)、「マインドフルネス認知療法」(北大路書房2007)、ココロを軽くするエクササイズ(東京書籍)、「Horizons in Buddhist Psychology」(Tao.Institute publication)などがある。



たなか かつとし
田中 克俊

医学博士、精神保健指定医、精神神経学会
専門医・指導医

1990年産業医科大学医学部卒業、1992年
(株)東芝本社産業医、2002年昭和大学医学
部精神医学教室講師、2003年北里大学学

院医療系研究科産業精神保健学准教授、2010年北里大学大学院医
療系研究科産業精神保健学教授

加入学会：日本産業精神保健学会(常任理事)、日本ストレス学会(理
事)、日本産業ストレス学会(理事)、日本うつ病学会(評議員)など

著書：「保健、医療、福祉、教育にいかす 簡易型認知行動療法実践
マニュアル」(大野 裕、田中克俊 きずな出版 東京 2017)、「メンタル
ヘルスマネジメント検定試験公式テキスト ラインケアコース、第2版、大阪
商工会議所編」(監修 中央経済社 東京 2013)、「働く人の睡眠と健康
あなたの睡眠足りていますか?～睡眠不足と睡眠障害～」(田ヶ谷浩邦・
田中克俊(監修)アスパクリエイト 東京 2012)、「働く人の睡眠と健康快
眠習慣のための10の方法～ぐっすり眠りたいよりよく眠りたい～」(田ヶ
谷浩邦・田中克俊(監修)アスパクリエイト 東京 2012)



早稲田大学国際会議場

〒169-0051 新宿区西早稲田1-20-14
TEL 03-5286-1755 FAX 03-5272-2063

〈アクセス〉

地下鉄東西線「早稲田」駅 徒歩8分
都電荒川線「早稲田」駅 徒歩3分



不安の医学
第25回都民講演会

テーマ

「うつ病治療の最前線」



共 催：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会
持田製薬株式会社

事務局：NPO法人 不安・抑うつ臨床研究会
(医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック内)
〒107-0052 東京都港区赤坂3-9-18 BIC赤坂ビル6F
TEL 03-5575-8198 FAX 03-3584-3433
ホームページアドレス：http://www.fuanclinic.com
E-Mail：waraku@fuanclinic.com

平成30年2月25日(日)
早稲田大学国際会議場

不安の医学 第25回都民講演会

— テーマ —

「うつ病治療の最前線」

日時 平成30年2月25日(日)
13:30~
(開場は開演の30分前)

場所 早稲田大学国際会議場

入場料 無料

<はじめに>

最近では、過重労働による精神疾患(特に、うつ病)が労災として認定される件数が増加しています。労働安全衛生法が改正され、ストレスチェックが義務化されたのもこうした時代的背景を踏まえての施策と考えられます。うつ病は有病率も高く、発症すると長期の治療期間を必要とするため、直接医療費だけでなく生産性の低下により、社会経済的な大きな損失につながります。

そこで、今回のテーマは「うつ病治療の最前線」と題して、最近の動向、薬物療法、心理的支援そして就労・復職支援まで広範囲にわたって最新の知見を紹介します。うつ病は本人が辛い経験をするだけでなく、家族、友人、職場の人まで巻き込んで大変な思いをする疾患です。どんな病気でもそうですが、特にうつ病では早期発見～早期対処が慢性化・難治化をふせぐ最良の方法です。

本講演会が、国民病と言っても過言でないうつ病についての最新の知識や対処法の理解を深める場となり、皆様の健康な生活づくりへの一助となることを期待しています。どうぞ、ふるってご参加ください。

平成30年正月 吉日

● プログラム ●

オルガナイザー：野村 忍
早稲田大学人間科学学術院 教授

● 13:30~ はじめに

野村 忍
早稲田大学人間科学学術院 教授

● 13:40~

「うつ病治療の最近の動向」

演者/野村総一郎
六番町メンタルクリニック 所長
座長/樋口 輝彦
国立精神・神経医療研究センター 名誉理事長

● 14:30~

「うつ病の正しい薬物療法」

演者/坂元 薫
赤坂クリニック 坂元薫うつ治療センター センター長
座長/貝谷 久直
医療法人和楽会/NPO不安・抑うつ研究会 代表

● 15:20~ 休憩(20分)

● 15:40~

「マインドフルネス認知療法

~うつ病の再発を予防する新しいアプローチ~

演者/越川 房子
早稲田大学文学学術院 教授
日本マインドフルネス学会 理事長
座長/久保木富房
梁山病院 名誉院長/東京大学 名誉教授

● 16:30~

「うつ病の就労支援・復職支援」

演者/田中 克俊
北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学 教授
座長/野村 忍
早稲田大学人間科学学術院 教授

● 17:20 閉会の言葉

● 演者の紹介 ●



のむら しのぶ
野村 忍

早稲田大学人間科学学術院教授
専門分野：心身医学、行動医学、臨床心理学
学歴：1977年神戸大学医学部卒業
職歴：1996年東京大学医学部心療内科助教授、2000年早稲田大学人間科学部教授(現人間科学学術院教授)、(2008年9月~12月ロンドン大学客員教授)
学会活動：日本心身医学会理事、日本行動医学会前理事長・顧問、日本ストレス学会理事、日本産業ストレス学会理事、日本心理医療諸学会連合理事など(他多数)
主な著書：「心療内科入門」(編著 金子書房1993)、「不安とストレス」(編著 日本評論社1998)、「情報化時代のストレスマネジメント」(日本評論社2006)、「心身相関医学の最新知識」(編著 日本評論社2012)、「行動医学テキスト」(編著 中外医学社2015)など(他多数)

のむらそういちろう 野村総一郎



一般社団法人日本うつ病センター 六番町メンタルクリニック所長、一般社団法人日本うつ病センター 副理事長
1969年慶応義塾大学医学部卒業、1975年立川共済病院 神経科、1977年藤田保健衛生大学医学部精神医学教室、1985年テキサス大学ヒューストン校神経生物教室 留学、1986年メイヨ医科大学精神医学教室留学、1988年藤田保健衛生大学医学部神経医学教室 助教授、1991年防衛医科大学校神経学教室 教授、2012年防衛医科大学校 病院長、2014年現職
著書：「うつ病の真実」(日本評論社)、「人生案内 もつれた心ほぐします」(日本評論社)、「うつ病を治す」(講談社現代新書)、「ぐるぐる思考よ、さようなら」(文春ネスコ)、「双極性障害(躁うつ病)のことが良くなる本」(講談社)、「標準精神医学」(医学書院) (他多数)
新聞記事：2016年4月13日の読売新聞
(<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160413-OYTET50026/>)



さかもと かおる
坂元 薫

NPO法人日本うつ気分障害協会(MDA-JAPAN)理事
日本精神神経学会代議員、日本うつ病学会評議員、精神保健指定医、精神科専門医・指導医、日本医師会認定産業医、医学博士
1982年東京医科歯科大学医学部卒業後、東京女子医科大学神経精神科にて研修、1984年同助手、1985~87年旧西ドイツ政府給費留学生としてボン大学精神科留学、1993年東京女子医科大学神経精神科講師、1999年同助教授、2007年同教授、2016年8月 赤坂クリニック 坂元薫うつ治療センター長
著書：「うつ病の誤解と偏見を斬る」(日本評論社2014)、「そのからだの不調、ホントはうつですよ」(平凡社2014)、「気分障害の臨床」(共著 星和書店1999)、「非定型うつ病」(監修 PHP研究所2011)他
テレビ出演：「名医にQ: NHK 教育」、「世界一受けたい授業: 日本テレビ」他